

化学物質等安全データシート(MSDS)

作成日 : 平成27年11月9日
改訂日 : —
改訂版 : 1

1 製品及び会社情報

製品名 : 溶剤用塩ビグロス80μ
製品コード : 14731
一般的名称 : 粘着加工製品

会社情報 : 株式会社システムグラフィ
〒916-0038 福井県鯖江市下河端町414

2 危険有害性の要約

GHS分類 : GHS分類基準に該当しない
物理化学的危険性 : 区分外
* 消防法の指定可燃物(合成樹脂 3,000Kg以上)

健康に対する有害性 : 該当しない
環境に対する有害性 : 該当しない
* 現時点で入手できるデータにおいて、健康及び環境に対する有害性を報告された事例はない。
* 製品の状態では特に危険性、有害性はないが、燃焼すると有毒ガス(塩素ガス等)が発生することがある。

ラベル要素
絵表示(ピクトグラム)、シンボル : 該当しない

3 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 本製品は成形品(Article)であり、公的にMSDSが要求される化学製品ではありません。
当該製品の一般的名称 : 粘着加工製品

| 構成部位 | 化学物質名等 | 各構成部位 比率(%) | 官報公示整理番号 | | CAS No. |
|------|-------------------|----------------|----------|-----|------------|
| | | | 化審法 | 安衛法 | |
| 表面基材 | ポリ塩化ビニル | 40-50 | (6)-66 | | 9002-86-2 |
| | 酸化チタン | | (1)-558 | | 13463-67-7 |
| | フタル酸ビス(2-エチルヘキシル) | | (3)-1307 | | 117-81-7 |
| | シリカ | | (1)-548 | | - |
| | その他構成成分 | | - | | - |
| 粘着剤 | アクリル酸エステル共重合体 | 5-15 | - | | - |
| | アルミニウム | | 対象外 | | 7429-90-5 |
| | その他構成成分 | | - | | - |
| 剥離紙 | セルロース | 40-50 | - | | 9004-34-6 |
| | シリコーン | | - | | - |
| | ポリエチレン | | (6)-1 | | 9002-88-4 |
| | その他構成成分 | | - | | - |

法令 * で通知することが義務づけられた化学物質

- * 化学物質管理促進法(第1種、第2種指定化学物質) : 第1種指定化学物質: フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)、9.6%
- * 労働安全衛生法(表示、通知対象物質) : 通知物質: フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)、9.6%
- : 通知物質: 酸化チタン(IV)、14%
- : 通知物質: シリカ、0.76%
- * 毒物・劇物取締法(毒物、劇物) : 該当なし

※ 法令で通知を義務づけられた物質は、量的な制約に基づき記載する。但し、その原材料に対する含有率とする。
「項目15 適法法令」の該非は、セパレーターも含んだ上記製品全体での含有率で判断する。

4 応急措置

* 当該製品は、危険、有害性のある製品ではない。

| | |
|----------------------|--|
| 吸入した場合 | : 成型品(固形物)であるため、一般的に吸入の可能性はない。 |
| 皮膚に付着した場合 | : 水と石鹸で十分に洗浄する。皮膚にかぶれ等の症状が出た場合には、直ちに医師の診断を受ける。 |
| 目に入った場合 | : 速やかに大量の流水で洗い、必要に応じて眼科医の診察を受ける。 |
| 飲み込んだ場合 | : 直ちに吐き出させ、清浄な水で口の中を洗浄し、医師の診断を受ける。 |
| 最も重要な徴候及び症状に関する簡潔な情報 | : 特になし |
| 応急処置をする者の保護 | : 特になし |
| 医師に対する特別注意事項 | : 特になし |

5 火災時の措置

| | |
|------------|------------------------------------|
| 消火剤 | : 水、泡消火器、ABC消火器、粉末消火器、二酸化炭素消火器 |
| 特有の危険有害性 | : 情報なし |
| 特定の消火方法 | : 情報なし |
| 消火を行う者への保護 | : 必要に応じ、有機ガス用防毒マスク、送気マスク、ゴーグルを用いる。 |

6 漏出時の措置

| | |
|------------|---------------------|
| 人体に対する注意事項 | : 漏出の可能性はないため、特になし。 |
| 保護具及び緊急時措置 | : 漏出の可能性はないため、特になし。 |
| 環境に対する注意事項 | : 漏出の可能性はないため、特になし。 |
| 清掃方法 | : 漏出の可能性はないため、特になし。 |

7 取扱及び保管上の注意

| | |
|-----------|--|
| 取扱 | |
| 技術的対策 | : 特別な注意事項はなし |
| 局所排気・全体換気 | : 通常で使用する場合は、特に必要なし。 |
| 注意事項 | : 特別な注意事項はなし |
| 安全取扱注意事項 | : 断裁時に紙粉等が発生する時は部分的な換気を実施する。 必要に応じて、埃用のマスクや保護メガネ等を着用する。 * ロール状物は重量物になるため、転倒や落下防止を施す。 |
| 保管 | |
| 技術的対策 | : 特別な注意事項はなし |
| 混触禁止物質 | : 特別な注意事項はなし |
| 保管条件 | |
| 適切な保管条件 | : 常温、常湿の室内で保管する。 |
| 避けるべき保管条件 | : 直射日光、高温、高湿での保管を避ける。火気厳禁 |
| 包装材料 | : 特になし |

8 暴露防止及び保護措置

| | |
|------------|------------------------------|
| 管理濃度・許容濃度 | : データなし |
| 技術的対策 | : 断裁時に紙粉等が発生する時は部分的な換気を実施する。 |
| 保護具 | |
| 呼吸器の保護具 | : 必要に応じて埃用のマスク等を着用する。 |
| 手の保護具 | : 特に必要なし |
| 目の保護具 | : 必要に応じて保護メガネ等を着用する。 |
| 皮膚及び身体の保護具 | : 特に必要なし |
| 衛生対策 | : 通常で使用する場合は、特に必要なし。 |

9 物理的及び化学的性質

| | | | |
|--------|---------------|---------------------|---------|
| 物理的状態 | | 物理状態が変化する特定の温度/温度範囲 | |
| 外観(形状) | : ロール状 又は、シート | 沸点 | : データなし |
| 色 | : - | 融点 | : データなし |
| 臭い | : 特になし | 比重(密度) | : データなし |
| PH | : データなし | 分解温度 | : データなし |
| 沸騰範囲 | : データなし | 溶媒に対する溶解度 | : 水に不溶 |
| | | その他 | : 可燃性 |

10 安定性及び反応性

| | | | |
|----------------|-----------------|------------|--|
| 安定性 | : 通常的环境下で安定である。 | 避けるべき条件 | : データなし |
| 特定条件下で生じる危険な反応 | : データなし | 混触危険物質 | : (可燃性のため、火気厳禁) データなし |
| 引火点 | : データなし | 危険有害な分解生成物 | : (可燃性のため、火気厳禁) : 燃焼すると有毒ガス(塩素ガス等)が発生することがある。 |
| 自然発火温度 | : データなし | | |
| 酸化特性 | : データなし | | |

| | | | |
|----------------|-------------------------|--------------|---------|
| 11 有害性情報 | | | |
| 急性毒性 | : データなし | 生殖細胞変異原性 | : データなし |
| 皮膚腐食性・刺激性 | : 人によっては、かぶれ等が生じる場合がある。 | 発がん性 | : データなし |
| 目に対する重篤な損傷/刺激性 | : データなし | 生殖毒性 | : データなし |
| 呼吸器・皮膚感受性 | : データなし | 特定標的臓器(全身毒性) | : データなし |
| | | 吸引性呼吸器有害性 | : データなし |
| | | 局所効果 | : データなし |

| | |
|-----------|--|
| 12 環境影響情報 | |
| 移動性 | : データなし |
| 残留性・分解性 | : データなし |
| 生体蓄積性 | : データなし |
| 生体毒性 | : データなし |
| 他の有害影響 | : データなし |
| | * 製品の状態では特に危険性、有害性はないが、燃焼すると有毒ガス(塩素ガス等)が発生することがある。 |

| | |
|-----------|--|
| 13 廃棄上の注意 | |
| 残余廃棄物 | : 地方条例に基づいて、産業廃棄物として処理する。 : 産業廃棄物処理認定業者と委託契約を結び、外部処理を行う。 : 焼却処理をする場合は、大気汚染防止法、廃棄物処理法等の諸法令に適合した設備・方法を使用して処理を行う。 |
| 汚染容器及び包装 | : 包装材を廃棄する場合においても、地方条例に基づいて処理する。 |

| | |
|--------------------------|--|
| 14 輸送上の注意 | |
| * 当該製品は、危険、有害性のある製品ではない。 | |
| 国際規則 | |
| 国連分類 | : 該当しない(リストにない) |
| 国連番号 | : 該当しない |
| 国内法規 | |
| 陸上 | : 取扱い及び保管の注意事項の一般注意事項に従う。 : 転倒・落下・破損がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。 : 消防法、労働安全衛生法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定める運送方法に従う。 |
| 海上 | : 取扱い及び保管の注意事項の一般注意事項に従う。 : 転倒・落下・破損がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。 : 船舶安全法の定めるところに従う。 |
| 航空 | : 取扱い及び保管の注意事項の一般注意事項に従う。 : 転倒・落下・破損がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。 : 航空法の定めるところに従う。 |

| | |
|---|---------------------------------------|
| 15 適用法令 | |
| 労働安全衛生法 | |
| 第14条 作業主任者の選任 | : 非該当 |
| 第57条 名称等を表示すべき物質 | : 該当 |
| 第65条 作業環境測定 | : 非該当 |
| 第66条 健康診断 | : 非該当 |
| 有機溶剤中毒予防規則 | 第X種有機溶剤 : 非該当 |
| 消防法: 指定可燃物 | : 該当 (合成樹脂類、3,000kg以上) |
| 化学物質管理促進法 | : 該当 |
| 化学物質の審査及び製造の規制に関する法律 | 第X種特定化学物質 : 非該当 |
| 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 | : 該当 |
| 海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律 | 海洋汚染物質 : 非該当 |
| 水質汚濁防止法 (有害物質) | : 非該当 |
| 有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律 | : 非該当 |
| 船舶安全法 | : 非該当 |
| 航空法 | : 非該当 |
| 輸出貿易管理令 | : 別表第1の11項～15項までは非該当(対象外) |
| キャッチオール規制 | : 別表第1の16項の関税定率法第39類「プラスチック及びその製品」に該当 |
| 参考文献 | |
| JIS Z7250:2005「化学物質安全データシート(MSDS)-第一部 内容及び項目順序」 | |
| GHSの挑戦「化学品の危険有害性情報に関する国際規格」(化学工業日報社) | |

| | |
|--|--|
| 16 その他の情報 | |
| ① 危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱には十分ご注意ください。 | |
| ② 記載内容は、現時点で入手できる情報に基づいて作成していますが、含有率、物理化学的性質は保証値ではありません。 | |
| ③ 注意事項は通常の取扱を対象としており、特殊な取扱の場合は用途・用法に適した安全対策を実施してください。 | |